

国語科(6年)



☆国語科で学習すること

小学校の国語の学習では、日常生活に必要な話す・聞く・書く・読むなどの基礎的な内容を繰り返し学習し確実に言語能力を育成することを重視しています。

6年生の国語では、年間175時間の授業を実施することになっています。本校では、その内の30時間を書写に当てています。

高学年は、これまでの学習のまとめをし、中学校の学習へ発展させていく小学校生活の最後期です。言語活動の場や目的も日常生活から社会全般にまで多様に広がりを見せ始めます。学習も目的を持ち「話す・聞く」力、「書く」力、「言語」の力が確実に身に付くように学習を進めていきます。

☆学習の仕方について

国語で学習することは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に关する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」です。

「話すこと」では、相手を決めてスピーチをしたり、話題を選んでインタビューをしたりします。聞いている人を意識して取り組むことが大切です。

「書くこと」では、目的をもち、誰に伝えるのかを考えて文章を書くことができるようにします。普段目にしているニュースですが、自分が発信者になって伝える学習もします。話題を見つける目をもち、日頃から題材を探せるとよいでしょう。

「読むこと」では、教科書を繰り返し声に出して読むことと、学級文庫などを利用して、できるだけたくさん本を毎日習慣づけて読むことがよいです。主題や要旨を考えて読むようにしましょう。

「我が国の言語文化に関する事項」では、古典文学にもふれていきます。昔から伝わる表現やそのリズムを楽しみましょう。

☆評価の観点について

国語科では、次の3つの観点で評価します。

①「主体的に学習に取り組む態度」

- 「言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。」
- 授業への参加態度、提出物、発表、ワークシート、読書カード等

②「思考・判断・表現」

- 「筋道を立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができる。」
- スピーチ、発表、聞き取りメモ等
作文、作文メモ、単元テスト(表現)等
音読テスト、ワークシート、単元テスト(理解)等

③「知識・理解」

- 「日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。」
- 漢字・言葉の小テスト、単元テスト(言語)、硬筆ノート、硬筆作品

☆児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力を重視し、ノート、自己評価や相互評価、毎時間の伸び、疑問、願いなどの様々な面から多面的に評価します。

学習予定

月	学習すること
4	○つないで、つないで、一つのお話 ○準備 ○伝わるかな、好きな食べ物 続けてみよう ○帰り道 ○公共図書館を活用しよう ○漢字の形と音・意味
5	○春のいぶき ○聞いて、考えを深めよう ○漢字の広場① ○笑うから楽しい 時計の時間と心の時間
6	○文の組み立て ○たのしみは ○天地の文 ○情報と情報をつなげて伝えるとき ○デジタル機器と私たち
7	○夏のさかり ○私と本 星空を届けたい
夏休み	夏休み読書チャレンジ
9	○せんねんまんねん ○いちばん大事なものは ○インターネットでニュースを読もう ○文章を推敲しよう ○漢字の広場② ○やまなし [資料] イーハトーヴの夢
10	○漢字の広場③ ○熟語の成り立ち ○秋の深まり ○みんなで楽しく過ごすために ○話し言葉と書き言葉
11	○狂言「柿山伏」を楽しもう ○『鳥獣戯画』を読む ○カンジエ博士漢字学習の秘伝
12	○漢字の広場④ ○ぼくのブック・ウーマン ○おすすめパンフレットを作ろう ○冬のおとずれ
冬休み	冬休み読書チャレンジ
1	○詩を朗読してしょうかいしよう ○知ってほしい、この名言 ○日本の文学文化 ○[コラム] 仮名づかい ○漢字の広場⑤ ○「考える」とは ○使える言葉にするために
2	○日本語の特徴 ○大切にしたい言葉 ○今、私は、ぼくは
3	○海の命 ○漢字の広場⑥ ○中学校へつなげよう ○生きる 人間は他の生物と何がちがうのか

社会科 6年



◆ 社会で学習すること

6年生の社会科は、1. わたしたちの生活と政治、2. 日本の歴史、3. 世界の中の日本、について、年間105時間の授業を通し学習します。

政治については、我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること、立法・行政・司法のそれぞれの役割、政治が国民権の考え方の下に行われること等を学習します。また、グローバル化する国際社会における日本の役割について学習し、世界平和の大切さと多様な文化を理解し尊重することの大切さを学びます。

歴史については、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解し、関連する先人の業績や優れた文化遺産の働きについて学んでいきます。

◆ 学習の仕方について

○ 見学・調査

- 見学・調査に行くときは、見学カードや見学ノートを使います。
- 見学・調査に行く前に、各自で調べたいことを整理しておきます。
- 見学・調査のルールやマナーは、事前に学習しておきます。

○ 資料活用

- 資料館、国会議事堂などを見学し、聞き取り調査をします。
- 教科書や資料集、地図帳や地球儀、統計や年表、インターネット、現地資料、新聞、インタビュー資料などを使います。
- 電話のかけ方や資料の集め方は、事前に学習しておきます。
- 歴史的な重要事項を、年表から選び出したり関連づけたりします。
- 歴史上の人物については、本やインターネットなどを使って詳しく調べます。
- 地図帳や地球儀を使って、歴史上の人物の出身地や勢力範囲、主な戦いの場所、築いた城の場所などを調べたり、日本と関係の深い国々についても調べたりします。

○ 表現活動

- 観察や見学・調査、体験などを通して調べたことをまとめ、発表します。
- 歴史新聞や手紙、年表、紙芝居、ガイドブックなどで表現し、発表し合います。



月 と

	1 わたしたちの生活と政治
4	①わたしたちの暮らしと日本国憲法 ②国の政治のしくみと選挙
5	③子育て支援の願いを実現する政治
6	2 日本の歴史 ①縄文のむらから古墳のくにへ
7	②天皇中心の国づくり
9	③貴族の暮らし ④武士の世の中へ ⑤今に伝わる室町文化
10	⑥戦国の世から天下統一へ ⑦江戸幕府と政治の安定
11	⑧町人の文化と新しい学問 ⑨明治の国づくりを進めた人々
12	⑩世界に歩み出した日本
1	⑪長く続いた戦争と人々の暮らし ⑫新しい日本、平和な日本へ
2	3 世界の中の日本 ①日本とつながりの深い国々
3	②世界の未来と日本の役割

◆ 評価の観点

3つの観点で評価します。

- ① 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解しているとともに、地図帳や地球儀、統計や年表等の各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。(知識・技能)
- ② 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断し、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりしている。(思考・判断・表現)
- ③ 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとし、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしているとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を持っている。(主体的に学習に取り組む態度)

◇ 保護者の方へ ◇

学校での学習だけでなく、日ごろから日常的に日本の歴史への関心を高めることが大切です。家族で散歩や旅行などに出かけるときには、歴史的な遺跡や遺物などにふれる機会を計画に加えてください。また地域にある文化財などを児童が自主的に調べに行き、地域の方に聞き取り調査をしたりするときには、ご協力をお願いします。

政治の仕組みについては、児童にとって難しい所もあります。児童が、日常生活の中から自然に政治への関心をもてるように、新聞やテレビによる国会の報道などについて、家族の団らんの時間に話し合ってみてください。

算数科 6年



☆学習すること

6年生は年間175時間の授業を通して次の内容を学習します。

- ・分数のかけ算、わり算
- ・概形のおよその面積や、円の面積、角柱と円柱の体積の求め方
- ・速さの求め方、メートル法の単位の仕組み
- ・拡大図や縮図
- ・線対称や点対称な図形
- ・比
- ・比例やと反比例
- ・文字を使った式
- ・平均、度数分布
- ・場合の数

☆評価の観点

算数科では、次の3つの観点で評価します。

- ① 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解しているとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。(知識・技能)
- ② 「日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力」「基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力」「数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力」を身に付けている。(思考・判断・表現)
- ③ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き粘り強く考えたり、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしたりしている。(主体的に学習に取り組む態度)

★ 単元テストだけでなく、日常の学習の様子、発言、課題への取り組み状況、ノート整理の仕方、自己評価や相互評価、毎時間の伸びなど様々な面から評価します。

☆保護者の方へ

- ①「東京書籍」の教科書を使用して学習を進めます。その他に、計算ドリルを購入して使用します。家庭学習でも活用してください。
- ②算数で学習することを生活に関連づけるよう意識していただくと、より学習効果が上がります。
- ③ノートは10mm方眼を使用します。

☆学習予定

学期	単元名	おもな学習の内容
一学期	1 対称な図形	◎線対称な図形 ◎点対称な図形 ◎多角形と対称
	2 文字と式	◎文字と式 ◎xとyを使った式
	3 分数×整数、分数÷整数、分数×分数	◎分数×整数・分数の計算
	4 分数÷分数	◎分数÷整数・分数の計算 ◎小数、分数、整数のまじった計算 ◎逆数
	*分数の倍 *どんな計算になるのかな	◎数直線を使って立式 ◎文章問題
	5 比	◎比と比の値 ◎等しい比の性質 ◎比の利用
二学期	6 拡大図と縮図	◎拡大図と縮図 ◎縮図の利用
	7 データの調べ方	◎図、表、式をつかって
	8 円の面積	◎円の面積の求め方
	9 角柱と円柱の体積	◎角柱や円柱の体積の求め方
	10 およその面積と体積	◎概形をとらえる ◎およその容積、体積
	11 比例と反比例	◎比例の式 ◎比例の性質 ◎比例のグラフ ◎比例の利用 ◎反比例
	12 並べ方と組み合わせ方	◎並べ方 ◎組み合わせ方
	*考える力をのばそう 算数で読みとこう	◎2つの数量の関係 ◎データの考察
三学期	○ データを使って生活を見直そう	◎代表値 ◎ドットプロット、度数分布表、ヒストグラム
	13 算数のしあげ	◎数と計算 ◎図形 ◎測定 ◎変化と関係 ◎データの活用 ◎考える方法や表現
	*算数卒業旅行	◎算数豆知識、算数クイズ 和算、外国の算数

理科 6年



理科の目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する。特に6年生では、育成を目指す問題解決の力の中で『より妥当な考えを作り出す力』を育成することを目標としています。

6年生で学ぶ主な内容

【物質・エネルギー】

ものの燃え方と空気、てこのはたらき、水溶液電気の利用

【生命・地球】

人や他の動物の体、植物の体、生き物と食べ物・空気・水、土地のつくり（地しんや火山と災害）、月の見え方と太陽、人の生活と自然環境



評価の観点

■知識・技能

自然の事物・現象に働きかけ、問題解決をしていくことを通して科学的な理解を深めたり、観察・実験などに関する技能を身に付け、得られた結果を適切に記録したりすることができる。

■思考・判断・表現

児童が自然の事物・現象に親しむ中で興味・関心をもち、そこから問題を見だし、予想や仮説を基に観察・実験などを行い、結果を整理し、その結果を基に結論を導き出すといった問題解決を行うことができる。

■主体的に学習に取り組む態度

意欲的に自然の事物・現象に関わろうとしたり、粘り強く問題解決しようとしたり、他者と関わりながら問題解決したり、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみようとしたりしようとしている。

単元テストだけでなく、日常の学習の様子、発言、課題への取り組み状況、ノート整理の仕方、自己評価や相互評価、毎時間の伸びなど様々な面から評価します。

	月	学 習 の 予 定
1 学 期	4	○ 自分のこととして考えよう 1 ものの燃え方と空気
	5	2 人や他の動物の体
	6	3 植物の体
	7	○ わたしの研究
	8	夏休みの自由研究
2 学 期	9	4 生き物と食べ物、空気、水
	10	5 てこ
	11	6 土地のつくり
	12	○ 地しんや火山と災害
3 学 期	1	7 月の見え方と太陽
	2	8 水溶液
	3	9 電気の利用
		○ 人の生活と自然環境

音楽科 6 年

♪ 音楽で学習すること ♪

6年生の音楽では、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能や、音楽を味わって聴く力を身に付け、生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を育てます。

学習では、今までの経験をもとに、自分の表現の意図やイメージ、思いをふくらませ、工夫して音楽を表現していきます。歌うことや楽器を演奏することへ意欲、主体的に取り組む気持ちを大切にしながら学習を進めていきます。

♪ 6年生の内容 ♪

- ・音楽の内容は大きく「表現」と「鑑賞」の二つに分かれています。

表現

- 歌や演奏するときに、どのように表現したいか思いや意図をもったり、全体のまとまりを意識した音楽づくりの発想を得たりする。
- 曲想、歌詞、音色、響きなどと音楽との関わりについて理解したり、音の組合せの特徴を理解したりする。
- 楽譜を見て歌ったり、演奏したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする。

鑑賞

- 曲や演奏のよさなどを感じて味わって聴いたり、曲想とその変化、音楽との関わりについて理解したりする。

♪ 学習活動を通して ♪

- ・6年生では、年間50時間、音楽の授業があります。
- ・音楽朝会では、学年ごとに進行を担当し、今月の歌を中心に歌唱する曲のめあてを持ちながら全学年で合唱し、音楽の楽しさや美しさを味わいます。
- ・始業式や終業式、運動会、卒業式などの行事でも校歌や儀式に合った歌を歌い、音楽の学習を生かして、心を込めて歌います。

♪ 学習の予定 ♪

月	題 材 名	教材 (◎鑑賞教材 ☆共通教材)
4	歌声をひびかせて心をつなげよう	・校歌・国歌・離任式の歌 ・ペガサス ☆おぼろ月夜 ・作詞者・作曲者をクローズアップ
5	いろいろな音色のひびきを味わおう	◎木星・ラバースコンチェルト ・ボイスアンサンブル ・著作権について知ろう
6	和音のひびきや音の重なりを感じ取る	・星の世界・雨のうた ・「雨のうた」の和音で旋律づくり
7	曲想の変化を楽しもう	・思い出のメロディー ◎ハンガリー舞曲第5番 ・星の世界 ・雨のうた ・和音の音で旋律づくり
9	詩と音楽の関わりを味わおう	・花・箱根八里・荒城の月 ・ふるさと風を切って ・音楽の持っている力や役割 ☆われは海の子
11	日本や世界の音楽に親しもう	☆越天楽今様 ◎雅楽「越天楽」 ◎世界の国々の音楽
12	音楽で思いを伝えよう	・きっと届ける・メヌエット ・街にだかれて
1	歌いつごう 日本の歌	・夏は来ぬ ・浜千鳥
2	みんなで楽しく♪	・Wish～夢を信じて～ ・いのちの歌 ・明日という大空 ・星空はいつも ・Edelweiss ・あおげばとうとし ・旅立ちの日に ・そよ風のデュエット ・木星・風を切って ・Paradise Has No Border
3		

♪ 評価の観点 ♪

- 知識・技能・・・・・・・・・・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能が身に付いている。
- 思考・判断・表現・・・・・・・・音楽表現を考えて、表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音楽を味わって聴くことができる。
- 主体的に学習に取り組む態度・・・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。

図画工作科（6年）

【図画工作科で学習すること】

- ◎ 図画工作科は、子どもたちが自分らしさを発揮し、自分の表現方法でかいたり、つくったり、遊んだりすることの快さや楽しさを味わう教科です。
- ◎ 図画工作科は、二つの領域とその両方に関わる【共通事項】からなっています。
 - ・A表現（1）『造形遊び』（2）『絵や立体・立体に表す』
 - ・B鑑賞
 - ・【共通事項】年間50時間の授業を、2か年を見通し、学年間で関連を図りながら指導します。
- ◎《ねらい》
 - 1 創造的に表現や鑑賞をする子どもを育て、つくりだす喜びを味わえるようにします。
 - 2 想像力を働かせて発想や構想をし、様々な表し方を工夫して造形活動ができるようにします。
 - 3 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取れる感性を高めます。

【評価の観点】

- ◎ できあがった作品だけで評価するのではなく、子どもたちの活動の様子の視点をあて、その過程を大切にします。
- 次の3つの観点で評価します。
 - 1 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。（知識及び技能）
 - 2 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
 - 3 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

《学習の予定》

	題 材 名（領 域）	
1学期	紙が奏でる形と色のハーモニー・絵 いつもの学校が変身／ゆらめきファンタジーランド・遊 すかして重ねてわたしの光・工／心も動き出すから・工 不思議なとびらのむこうから・絵／わたしのお気に入りの場所・絵	絵のお話でプレゼント・工
2学期	わたしの二つの気持ち・絵／見て感じてわたしの表現に・絵 形の中に入ってみると・立／ねん土の板から生み出す形・立 墨や筆の技 水墨画の世界へ・鑑 ためして刷って広がる思い・絵・版	墨の達人・絵 金属と木でチャレンジ・工
3学期	白くなったら見える世界・立 わたしはデザイナー 12さいの力で・工／ドリームカンパニー・工	

《子どもたちにがんばってほしいこと》

- ◎ 日頃から、図画工作科の授業で使えるものを集めておきましょう。
集めたものは、『図工箱』に入れておくと役立ちます。
材料や道具を忘れないようにしましょう。
材料は、むだにしないで大切に使いましょう。
道具は安全に気を付け、丁寧に使いましょう。
- ◎ 作品は、途中であきらめないで、最後までがんばり完成させましょう。
- ◎ 後かたづけは、みんなと協力して進んでみましょう。



家庭科 6年



家庭科で学習すること

自分や家族の生活を見つめ、支えられている自分からできるようになる自分へと成長していくための学習です。

衣食住に関する実践的な学習を通し、家族の一員として協力して家庭生活をよりよくしようとする意識や能力を培います。また、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識や技術を習得し、作ることや働くことの喜びを味わいながら、実際の生活で活用できるようにします。

将来、よりよい家庭生活や生き方ができるようにするための重要な能力や実践する力を学習していくのが「家庭科」です。

評価の観点

①知識・技能

日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに関する技能を身に付けている。

②思考・判断・表現

日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践し、考えたことを表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。

③主体的に学習に取り組む態度

家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に自分から取り組んだり振り返って改善したりして、生活を工夫し実践しようとしている。

保護者の方へ

家庭科は、日常の家庭生活で経験的に学ぶこと（生活学習）と教科内容を学ぶこと（教科学習）との関連を図ることにより、一層、家族や家庭生活への理解を深めることができる教科です。子供たちが身に付けた知識と技能などを、日常生活に活用できるように、家庭学習の課題に出ることがありますが、ご支援ご協力をお願い致します。

学習の予定

	題材名	主な学習活動
1 学 期	1 生活時間を マネジメント	自分や家族の生活時間の使い方の課題を見つけ、過ごしやすい工夫を考えます。
	2 できることを 増やして クッキング	いためる調理のよさが分かり、食品を組み合わせる工夫し、朝食に生かします。
	3 クリーン大作戦で 快適に	よごれの種類や場所に合ったそうじの仕方を学習します。
	4 衣服の手入れで 快適に	暑さに対応した住まい方を学習し、生活に生かします。
	5 すずしい住まい方 で快適に	すずしい着方の特徴、環境を考えた洗濯の仕方を学び、快適な衣生活を工夫します。
チャレンジコーナー		
2 学 期	6 ソーイングで 生活を豊かに	目的に応じたふくろの特徴を観察し、布を使って生活に生かすふくろを製作し、生活に生かします。
	7 こんだてを 工夫して	1 食分のこんだてを立て、調理計画や食品の選び方を考えながら、食事の仕方を工夫します。
チャレンジコーナー		
3 学 期	8 共に生きる 地域での生活	自分・家族・地域の人々との関わりをよりよくする方法を考えます。
	9 持続可能な 社会のために	自分の生活と身近な環境との関わりを考え、よりよい生活の工夫をします。
〔2年間の学習を 中学校につなげよう〕 〔生活の課題と実践〕		

体育科 6年

体育科で学習すること

- 各種の運動の課題をもち、活動を工夫して計画的に行うことによって、その運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、その特性に応じた技能を身に付け、体の調子を整え、体力を高める。
- 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自分の最善を尽くして運動をする態度を育てる。
- 病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。



田間宮体育の願い

自分に適しためあてをつかみ、仲間と磨き合う喜びを味わわせる体育学習

- ・ その運動の楽しさや喜びを味わわせる。
- ・ 健康で安全な生活について理解させる。

- つまづきを把握し、それを克服するためのめあてを自分で考えることができるようにします。
- 単元の流れやねらい①、②の違いを理解できるようにします。
- 補助できるようにします。
- 指定された場を必要に応じて変え、活動することができるようにします。

身に付けさせたい力

「からだづくり」

- ・ 筋力の発達が目立つようになり、力強い動きができる。
- ・ 確かな動きのよさに気づき、課題解決がはかれる。

「こころづくり」

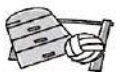
- ・ グループの中の個々を互いに認め合える。
- ・ 自分のめあてに向かって練習を工夫して粘り強くやりぬくことができる。

「なかまづくり」

- ・ チームの力を高めるために、役割分担しながら協力して練習やゲームができる。
- ・ 正しい評価の仕方を理解できる。

学習の予定

月	領 域 名	<内 容>
4	集団行動	<集団行動>
5	ゲーム	< バスケットボール >
6	表現運動	< 表現運動 >
	保健	< 病気の予防 >
7	水泳	< 水泳 >
9	体づくり	< 体ほぐし >
	陸上運動	< ハードル走 >
	陸上運動	< 走り高跳び >
10	体づくり	< 体の動きを高める運動 >
	保健	< 病気の予防 >
11	器械運動	< 鉄棒運動 >
	体づくり	< 体力を高める運動 >
12	器械運動	< マット運動 >
1	ゲーム	< サッカー >
2	器械運動	< 跳び箱運動 >
3	ゲーム	< ティーボール >



評価の観点

- 知識・技能 … 各種の運動の楽しさと喜びを味わい、その行い方及び病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
- 思考力・判断力・表現力 … 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
- 学びに向かう力、人間性 … 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動したり、仲間の考えや取組を認めたり、自己の最善を尽くして運動している。

特別活動 6 年

★特別活動の目標★

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指します。

★特別活動の活動内容★

学級活動	学校行事	児童会活動	クラブ活動
(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現	儀式的行事 文化的行事 健康安全・体育的行事 遠足・集団宿泊的行事 勤労生産・奉仕的行事	1年生を迎える会 陸上選手を はげます会 卒業を祝う会 等	バスケ・ドッジ サッカー・フット 卓球 バド・バレー バトン・ダンス パソコン 昔遊び 手芸 図工 科学



◇学級活動の学習の予定◇

月	(1) 学級や学校の生活づくりに関する内容 27時間	(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全に関する内容 5時間	(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現に関する内容 3時間
	《予想される議題例》	《題 材》	《題 材》
1 学期	- 学活の計画を立てよう - 学級の目標を決めよう - 係を決めよう - 給食当番をきめよう - 修学旅行の取り組みを話し合おう - バスケット大会の取り組みを話し合おう - 児童会のテーマを考えよう - 運動会の取り組みを話し合おう - 縦割り班と役割を決めよう - 縦割り班で遊ぼう - 係のコーナーを作ろう - スポーツ大会をしよう - まよめの会をしよう - 応援団を決めよう	- 学校をきれいに ○自主的な学習 - 雨の日の過ごし方 - 安全な自転車の乗り方 - 整理整頓 ○楽しい夏休み	- 登校班のリーダー - バスケット大会 - 運動会
2 学期	- 係を決めよう - 夏休み発表会をしよう - グループのめあてを決めよう - 兄弟クラスと遊ぼう - 新聞コンクールをしよう - 卒業文集の内容を決めよう 2学期のまよめをしよう	○2学期をむかえて - けがの防止 - 目の健康 ○本当の友情 - ゲームや通信機器、インターネットと生活 - 風邪の予防 - 読書について ○有意義な冬休み - 心のこもった言葉 - 交通安全 - こづかいの使い方	○陸上記録会
3 学期	- 係を決めよう - 社会科見学の取り組みを話し合おう 「卒業を祝う会」の出し物を決めよう 5年生とバスケット大会をしよう - 給食のマナーを考えよう - 学級のお別れ会をしよう - 友達のよいところ発表会 - 感謝の会をしよう	3学期をむかえて - 給食と給食週間 - 恐ろしい交通事故 - 暖房と換気 ○卒業への心構え - 教室をきれいに - もうすぐ春休み	○もうすぐ中学生 - 卒業を祝う会



道 徳 科 6 年

学習予定

道徳科で学習すること

	月	教科書名	項目
1 学期	4	自分らしく	A 個性の伸長
		チョモランマ清掃登山隊	D 自然愛護
	5	友達だからこそなやむこと	B 友情、信頼
		どんな心が見えてきますか	C 規則の尊重
		捨てられたペットたち	D 生命の尊さ
		マザー・テレサ	C 勤労
	6	移動教室の夜	A 善悪の判断
		*あなたも同じ	C 公正、公平
		青の洞門	D よりよく生きる喜び
2 学期	7	あの夏の郡上おどり	C 伝統と文化
		心にふく風	B 礼儀
	9	カラフルな工夫	B 相互理解
		*思いをのせたランドセル	B 親切、思いやり
	10	ロレンソの友達	B 友情、信頼
		のりづけされた詩	A 正直、誠実
		食べ残されたえびになみだ	A 節度、節制
		帰ってきたクニマス	D 自然愛護
	11	はじめてのアンカー	C 家族愛
		命を見つめて	D 生命の尊さ
		光をともした「魔法の薬」	A 心理の探究
		幸せをいのって織るじゅうたん	C 国際理解
3 学期	12	美を求めて 上村松園	D 感動、畏敬の念
		会話のゆくえ	A 善悪の判断
		ブランコ乗りとピエロ	B 相互理解
		市民に愛される動物園を目指して	A 希望と勇気
	1	大みそかの朝に	C 伝統と文化の尊重
		最後のおくり物	B 親切、思いやり
		鬼の銀蔵	A 善悪の判断
	2	*未来を見つめるまなざし	C 公正、公平
		その思いを受けついで	D 生命の尊さ
		前を向いて	C よりよい学校生活
3 学期	3	こだわりのイナバウアー	B 感謝
		届け！ぼくらの願い	C 規則の尊重
	3	世界の子供たちの夢	C 国際理解
		栄光の架橋	A 希望と勇気

*彩の国の道徳（埼玉県独自の道徳教育教材資料集）

1 学期：「学級づくりの羅針盤」より

2 学期：「心の絆」より

3 学期：「未来に生きる」より

A 主として自分自身に関すること

- (1) 自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。
- (2) 誠実に、明るく心で生活すること。
- (3) 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制を心掛けること。
- (4) 自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。
- (5) より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。
- (6) 真理を大切にし、物事を探求しようとする心をもつこと。

B 主として人との関わりに関すること

- (7) 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。
- (8) 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。
- (9) 時と場合をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。
- (10) 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。
- (11) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。

C 主として集団や社会とのかかわりに関すること

- (12) 法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。を守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たすこと。
- (13) 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。
- (14) 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。
- (15) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。
- (16) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。
- (17) 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。
- (18) 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

- (19) 生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。
- (20) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。
- (21) 美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を越えたものに対する畏敬の念をもつこと。
- (22) よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。

評価の視点

○道徳教育における評価は、教師が児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し勇気付ける働きをもつものです。観察や面接、質問用紙、作文等を利用して道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにしています。

○道徳科に関しては、数値などによる評価は行いません。

ふれあう時間（総合的な学習の時間） 6年

ふれあう時間（総合的な学習の時間）とは

地域や学校、児童の実態に応じ、学校が創意工夫を生かして特色ある教育活動を行うことができる時間です。国際理解や情報、環境、福祉健康などの今日的課題や各教科等の学習内容をまたがったり発展させたりするような課題、児童の興味・関心に基づいた課題などについて学習を進めます。6年生では、70時間学習します。

ふれあう時間の目標

- 児童が学習や生活の中から、自分で課題を見つけ出すことができるようにします。
- 自ら考え判断し、問題を解決していく経験を通して、学び方を身につけるようにします。
- いろいろな「ふれあい」を通して、人としての生き方や在り方を学びます。



育てたい力・態度

- 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、探求課題に対する自分なりの結論を見出す力。
- 体験や他者から得た情報を基にして自ら課題を設定し、調べて得た情報を自分なりの根拠をもってまとめ・表現する力。
- 探求的な学習に主体的・協働的に取り組み、学んだことを自分の生活に生かそうとする態度。

児童の学習活動

次の段階を踏まえ学習を進めます。

- 【課題の設定】体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ。
- 【情報の収集】必要な情報を取り出したり収集したりする。
- 【整理・分析】収集した情報を、整理したり分析したりして思考する。
- 【まとめ・表現】気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。

評価の観点

- ・テーマにそって自分がやりたいことを計画し、続けられたか。
 - ・学習してきたことが、効果的にまとめられたか。
 - ・レポート、絵、作品、資料等を整理して発表できたか。
 - ・グループで協力して積極的に取り組めたか。
- ※テストや優劣をつけるような評価は行いません。

	月	テーマ・ねらい	技能 (文書作成・表計算・プレゼンテーション・プログラミング)
1 学期	4	すてきがいっぱい1 日本の文化（華道、茶道、着物、水墨画、囲碁、将棋、武道など）のよさを知ります。	
	5		
	6	パソコンの使い方に慣れる学習 学習アプリ（L-gate）や会議用アプリ（Teams）の使い方の確認やローマ字入力の練習の他、Word、Power Point の操作を確認し、Excel を使った計算や票の作り方、Scratch を使ったプログラミング学習を行います。	
2 学期	7		
	9		
	10	すてきがいっぱい2 日本のさまざまな素敵な場所や伝統文化（日光）について、調べたり体験したりしたことをガイドブックにまとめていきます。	
3 学期	11		
	12	思い出から明日へ1 これからの自分の生き方を見つめ、卒業文集にまとめます。	
	1	思い出から明日へ 2 一人一人が成長を振り返り、自分の得意な方法で自分の成長を表現できるようにします。	
	2		
	3		

保護者の方へ

児童が取り組んでいることについて、ご家庭でも話題にいただければ、児童の関心も高まります。

また、経験等を生かしゲストティーチャーとして児童に話をしていただける方や、校外での学習時に児童の安全のため、支援ボランティアをしていただける方を探しています。ご協力をお願い致します。

外国語 6年

*** 外国語の目標 ***

英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通してコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

- 英語を通じて
- ① 言語や文化について体験的に理解を深める。
 - ② 他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
 - ③ 英語の音声や基本的な表現に親しませる。

外国語で学習すること

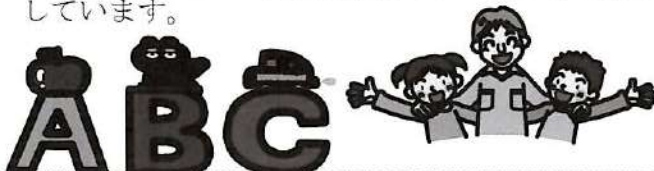
- * 英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験します。
- * 積極的に英語を聞いたり、話したりします。
- * 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ります。
- * 英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付きます。
- * 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付きます。
- * 異なる文化をもつ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深めます。

*** 評価の観点 ***

- ① 言語や文化の理解を深めているか。
- ② 積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか。
- ③ 英語の音声や表現に慣れ親しんでいるか。
- ④ アルファベット大文字小文字を識別し視写できるか。

*** 保護者の方へ ***

- ・ 外国語の学習においては、原則として英語を取扱います。6年生ではアルファベットの大文字小文字を「書く」活動も行い、中学校への準備を行います。
- ・ 多くの表現を覚えたり細かい文法事項を理解したりするのではなく、簡単な表現を読んだりすることでコミュニケーションを図り、英語に慣れ親しむことに重点を置いていきます。
- ・ 今年度は担任とALTでの授業です。
- ・ CDやDVDなどの視聴覚教材や絵カード等を活用しています。



学習の予定（年間70時間）

	タイトル	主な使用表現 内容 等
1 学期	1 Hello, everyone. 友だちのことをもっと知ろう。	I'm (Chiba Haruhi). I'm from (Sweden). I like [have / want] (cats). I can (swim). I'm good at (swimming).
	2 Welcome to Japan. 日本のよいところをしようかいしよう。	We have (<i>hanami</i> in(Japan)[(spring)]). We have (the Hakata Dontaku Festival) in May[(Fukuoka)].
	3 What time do you get up? 「理想の日曜日のスケジュール」を伝え合おう。	I (get up) at (six). I always [usually / sometimes / never] (get up) at (six). I always [usually / sometimes / never] eat (apples) for breakfast [lunch / dinner].
	4 My Summer Vacation 夏休みの思い出を発表しよう。	I went to (the beach)[ate (pizza) / saw (pandas) / enjoyed (fishing)]. It was (fun).
2 学期	5 Where do you want to go? 行きたい国のみりをよく伝え合おう。	Where do you want to go? I want to go to [see / watch / eat / buy / visit] ~. You can see [watch / eat / buy / visit]
	6 My Best Memory 小学校生活の思い出アルバムを作ろう。	What's your best memory? My best memory is (the school trip). (The school trip) is my best memory. I enjoyed (fishing) [went to(the beach)] It was fun [fantastic].
3 学期	7 My Dream 将来の夢を発表しよう。	What do you want to be? I want to be (a vet). I like (animals). I want to (help animals).
	8 My Junior High School Life 中学校生活でしたいことやがんばりたいことを伝えよう。	I want to join (the basketball team). I want to study (English) hard.